

— 合理的な仕事の切り出しでシニア雇用を創出 —

社会医療法人 小寺会 佐伯中央病院

所在地 佐伯市
業 種 医療・福祉業

事業内容 病院運営

設立年 昭和50年

従業員数 324人（うち65歳以上 9人）

高齢者雇用制度

定年は60歳、以降65歳まで再雇用制度あり。
ただし、雇用上限年齢は設定していない。



シニア雇用の背景・取組

当病院では、看護師の負担軽減などを目的に1年前から60歳後半のシニアの雇用をはじめました。看護師の資格を持っていない職員には、いまある仕事を分業化し補助的な業務を切り出して担当してもらっています。

補助的な業務には、入院患者の身の回りのお世話をする「看護補助」と、洗濯や掃除、物品配達など比較的簡単な作業で経験や資格がなくても出来る「病棟業務サポート」があり、シニアは主に病棟業務サポートを担当しています。

シニア人材を雇用するうえでの配慮

定期的にシニアの意見を聞き、本人の希望に沿った無理のない勤務時間や時間帯、曜日及び仕事内容を決めています。

仕事内容については、一方的な指示ではなく、この仕事がシニアに出来そうか作業のペースはどうかなど本人と相談しながら出来るだけ負担を掛けないように配慮しています。

活躍シニアのご紹介 池田 妙子さん（71歳）

私は、病棟内の掃除を担当しています。

担当エリアは、セキュリティ上外部のメンテナンス業者が立ち入ることが出来ない場所を中心に作業しています。

元々、掃除をすることが好きなので仕事が苦になることはありません。

周囲の人たちから「ありがとう！綺麗になったね」といわれた時には、この上ない充実感があります。

これまで健康管理に気を配り、元気で働いてきた自分に自信を持つことで、気持ちが前向きになります。

働く場所があり、求められていることにいつも感謝しています。



仕事中の池田さん